

◎ 社会部門（中）

1 活動

実施予定年月日	事業内容名	場所	参加人数
R元 6, 1 1	第1回天草教育研究所中学校社会科部門研究委員会	天草教育会館	6名
7, 2	「授業づくり研修会」 学習指導案検討会	天草教育会館	12名
8, 20	「授業づくり研修会」 学習指導案検討会	天草教育会館	11名
11, 5	中学校社会科部門授業研究会	五和中学校	22名
R2 2, 27	第2回天草教育研究所中学校社会科部門研究委員会	天草教育会館	6名

2 活動内容

（1）研究主題

「社会に関心を持つ生徒を育てる社会科学習の創造」
～教科書の効果的な活用を中心として～

（2）授業づくり研修会

①第1回（7月2日）自主参加にて実施

- ・本年度授業研究会提案授業について協議
- ・若手教師の模擬授業と意見交換

②第2回（8月20日）自主参加にて実施

- ・授業研究会提案授業指導案について協議

（3）中学校社会科部門授業研究会

①提案授業

令和元年11月5日（火）5校時

場所 天草市立五和中学校3年1組教室

授業者 野島 敏則 教諭

单元名 （公民的分野）第3章 現代の民主政治と社会 第1節 現代の民主政治
4 マスメディアと世論（東京書籍P82～P83）

本時の目標

公正な世論をつくるために、私たちはマスメディアからの情報をどのように扱っていけばよいのか、説明することができる。

授業の見所

- ・五和中学校の校内研修において行っている学習過程「い」（いえる）、「つ」（伝える）、「わ」（わかりあう）が効果的に活用されていたか。
- ・授業において、ICTが効果的に活用されていたか。

②授業研究会



3 成果と課題

（1）成果

- ①小学校社会科のテーマと関連付けることにより、連携した取組につなげることができた。
- ②指導案検討会及び情報交換会を行うことで、研修を深めることができた。
- ③タブレット端末を活用することで、協議の視点を広げることができた。

（2）課題

- ①生徒が意見を形成するための、ネットニュースの情報収集の視点や予備知識が不足していた。
- ②管内中学校が広範囲にわたるため、自主研修への参加が難しい面がある。